

平成30年度 教育自立圏推進公開発表会 を開催しました。

日 時：平成30年11月21日（水） 午後1時30分～午後4時30分
会 場：弘前市立石川小学校・石川中学校
参加者：132名

弘前市教育委員会では、平成28年度から2年間、調査研究校として4つの中学校区（裾野中学校区・東目屋中学校区・第三中学校区・石川中学校区）において、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの調査研究を行ってきました。

小中一貫教育は全市立小・中学校でスタートし、コミュニティ・スクールについては28校で導入し、取組を進めています。

今年度、石川中学校区において、公開発表会を開催しました。

公開授業

全ての学級で公開授業を行いました。

ひろさき卍学や弘前式健康教育コアカリキュラムの授業のほか、小中一貫教育に係る小学校と中学校の合同学習などを行いました。



全 体 会

弘前市教育委員会の吉田教育長のあいさつに続き、石川中学校区の取組を石川中学校の松山校長が発表しました。

- ・先進校視察の状況
- ・学校運営協議会の組織づくり
- ・地域コーディネーターの活動
- ・目指す子ども像（15歳の姿）の検討
- ・校内、中学校区の組織体制 など



講 演

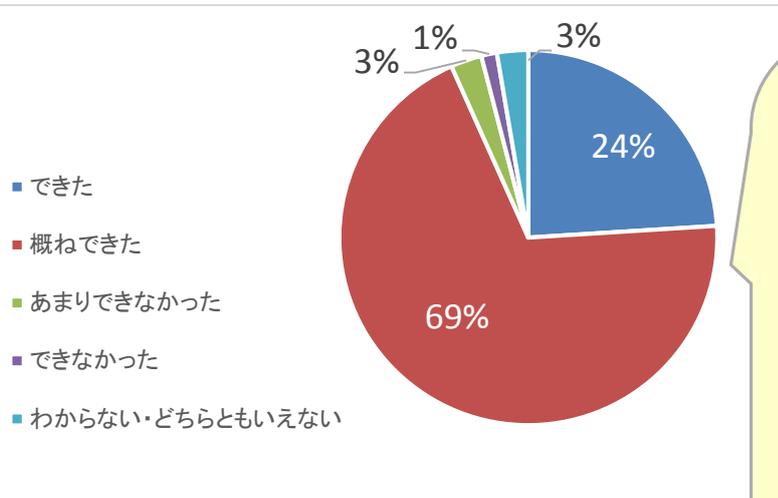
弘前大学教育学部准教授 松本 大 氏による「地域に根差した教育をめざして～地域、学校の連携・協働」と題して御講演をいただきました。

講演では、地域に根差した教育をめざして、学校と地域の連携・協働の意義や進めるためのヒントについて、地域学校協働活動のポイントや青森県のアンケート調査などの具体例を示しながらお話いただきました。



参加者アンケート結果から

教育自立圏の理解が進んだ 93%



公開発表会を参観して、教育自立圏の取組を理解することはできましたか？

【主な意見】

- ・石川小・中学校の具体的な取組内容が大変参考になった。
- ・子どもたちが先生方や地域の方といきいきと学習している様子が見られてとても良かった。
- ・地域、保護者、学校それぞれの理解と推進していくための予算と人材の確保が今後必要である。
- ・教職員の多忙化解消に留意する必要がある。